

鹽竈の記憶

Em D C C Em D C D

夕日が杉の木 斜めに染め

Em G D Em

石段の上 影を落とす

C D Em C D Em D7

遠く行ってゆく 昼のざわめき

Em G D Bm

2010年の記憶の中

Em G D Em

幾度か訪れた神社のそば

C D Em C D Em D7

昔ながらの茶屋 今もあるだろうか

G D Em C

震災前 鹽竈の夕方

G D Bm Em

ただ静かに その日が 終わって

Em D Bm Em G D

潮風の有りてを身体中 ほんのりと感じて

G D Bm Em

苔むした灯籠に "守られている.. 気分思.. 出す"

鳥居の赤い景色に溶けて

長い歴史の深さを語る

静かに夜の火を灯すように

2010年のあの夜は

ちやうど行事が催さんてた

降りた雨から 光る石段

震災前 鹽竈の寿司屋

熱いお茶をゆっくり飲み干す

一日の疲れを身体中 心地よく感じて

照らされた参道に "守られている.. 気分思.. 出す"